

科目「高校美術 2」選択 シラバス

1. 高校3年間での教科到達目標

①絵画、立体、デザイン、工芸を中心に表現手段の基礎を学び、造形的な創造の能力を伸ばす。	②作品を創り出す喜びを味わいながら、自己と向き合い表現することとは何かを学習する。	③ 芸術を愛好する豊かな情操を育み、個性を認め合う、柔軟でおおらかな鑑賞力と知識を習得する
---	---	---

2. 科目の到達目標と評価の観点

（教科名）美術 科目 美術 2	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	2 単位	第2 学年	教科書：美術 2 光村図書 副読本：新造形と美術 浜島書店
学習の到達目標	美術を自己表現の手段として考え、創造していく技術や、描写力、発想力を身に付けていく。美術系大学への進学希望者に対応し、油絵、デザイン、日本画、彫刻、工芸の実技試験の内容を対策し、主にデッサン、油絵、平面構成などの技法、技術を習得する。		
評価の観点	＜知識・技能＞ 造形の基本となるデッサン力を身につける。 対象物をよく観察し、考える力をもつ。		
	＜思考力・判断力・表現力＞ 作品に対しての思考や責任感。個性豊かな表現力を評価する。		
	＜主体性・多様性・協働性＞ 授業中の主体性を持った制作態度と、個々の作品を認め合う柔軟でおおらかな視点を評価の対象とする。		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・100%
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・80%
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの・・・60%
 D：未提出、未実施・・・0%

【教科横断、外部との連携】

- ①授業中制作した生徒の作品を公募展に積極的に出品する。
 ②日本、世界史を踏まえて、美術史を学び、多くの芸術的作品を鑑賞する。

月	単 元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
1 学 期	美術ガイダンス	○一年間を通じて教科書と副読本を活用する。	○美術の授業に必要な道具類の把握。教科書と画材等に、名前記入をすることで紛失予防の徹底。
4 月	① 美術の教科書紹介 ② 美術の授業でのパソコンの扱い方の説明。	○ネット上の画像検索の仕方についての注意点を、生徒に周知。	○パソコン、備品の扱い方の周知で生徒の制作が行いやすくなる。 ○欠席者への配慮。
5 月	○1学期課題 「石膏デッサン」 デッサン基礎を学ぶ。	○石膏像、ヘルメスもしくはブルータスを素描（デッサン）。	○必要な用具。 ①木炭 or 鉛筆 ②練り消しゴム、 ③カルトン or パネル ④木炭紙、画用紙
6 月	○風景スケッチ 鉛筆	○石膏像の形を正確のとらえ立体感、明暗、陰影の描写をする。 ○対象物をよく観察し、立体を把握することが必要である。 ○構内の風景をスケッチする	○木炭デッサンを基本とするがデザイン、日本画に対応するため、鉛筆デッサンも対応。 ○用具の説明。
7 月	○デザイン基礎 平面構成「ボトルデザイン」 アクリルガッシュ絵の具で着彩する。 ○提出。	○ケント紙 A3 に平面構成を描く。 アイデアスケッチをもとに自由に構成。 ○提出場所は教室内の乾燥棚。作品に名札を付けて提出。	○ロイロノートにレクチャー画像を配信。 欠席者に対応。 ○参考作品を鑑賞し、自分の作品制作のヒントになれば取り入れる。 ○欠席者に対応。 ○ロイロノートに画像を提出
夏 休 み 課 題	○夏休みの課題 「パラパラ漫画」 動くマンガの原点 画材は自由。 パラパラ漫画専用紙で制作する。	○題材となるテーマは各自で選択する。 ○オリジナルな作品である事 ○用紙50枚分でシンプルなストーリーを考える。 ○文化祭に展示予定している	○画材は自由。 絵の具、色鉛筆、ペンなど自由に使用して良い。 ○参考作品の画像を配信。 ○2学期最初の授業内に提出。

2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月	○2 学期課題 鉛筆「静物デッサン」 ○エスキースを描く。 構図を考えて、画用紙の画面に効果的に配置できるように描く。 ○文化祭の展示のための作品準備。 ○静物デッサン提出。 ○2 学期課題 「模写」 アクリルガッシュ絵の具を用いて模写を行う。 ❶ボードに分割線を描く ❷描写 ❸着彩 アクリルガッシュ絵の具 ○提出。	○教室内にデッサン用モチーフを設置。 ○明暗、陰影をよく観察し描写することで立体感を表す。 ○教科書の参考作品と、過去の美術の授業で制作した参考作品を鑑賞。 ○1 学期課題作品、夏休みの課題の展示用の準備を行う。 (名札、台紙貼り、ファイル) ○作品に名札を付け提出。 ○各自の選んだ画家の作品模写。 構図のとりかたや絵の具の混色を学ぶ。 ○模写をする絵画のコピーをとる。なるべく精細な画像のコピーもしくは画集を見る。 ○鉛筆で下描き線を入れる。 ○アクリルガッシュ絵の具で着彩。 ○絵の具の混色の工夫を学ぶ ○教室内乾燥棚に提出。	○必要な画材 ❶画用紙 A3 ❷鉛筆 2H～6B ❸デッサン用スケール ❹練り消しゴム ❺布 ○欠席者に対応。 ○ロイロノートにレクチャー画像を配信。 ○美術係を中心に授業中に制作した作品の展示準備を行う。 ○教室内の乾燥棚の提出。 ○必要な画材 ❶彩色用ボード ❷アクリルガッシュ絵の具 ❸鉛筆 ❹定規 ○鉛筆で正確な線を入れる。 ○絵の具で細部の描写をする。 ○プリント配布。 ○名札の確認
	○作品提出の確認。 ○欠席者に対応。 ロイロノートに作品画像の提出を促す。	○作品に名札を付けていない生徒に連絡。 ○作品未提出者に連絡。	○欠席者に対応 ロイロノートに画像を提出もしくは作品実物を美術準備室に提出。

3 学 期	○3学期課題 木彫刻 「鳥の形」 ○エスキースを描く	○テーマを考えてクロッキー帳にエスキースを描く ○参考作品を鑑賞。 ○彫刻刀の扱い方を学びながら、作品を制作。 ○木目を生かしながら着彩を施す。	○彫刻の注意点 ①彫刻刀の扱い方になれる。 ②エスキースのイメージを再現。 ○素材は木材を使用。
1 月	○木材に下図の線を描き入れる。鉛筆を用いる。 ○彫刻刀で彫っていく。 最初は荒い面取りから進め細部に彫り進めていく。 ○着彩 アクリルガッシュ絵の具 ○ニスを塗る。 ○提出	○彫刻刀の扱い方を学ぶ。 ○自分のイメージ図に沿って彫っていく。 ○作品に名札を付けて乾燥棚に提出。	○ロイロノートにレクチャー画像を配信する。 欠席者に対応。 ○参考資料と、作品をロイロノートに画像配信。
2 月	○3学期課題 平面構成もしくは構成デッサン ○講評	○平面構成はアクリルガッシュ絵の具を使用。 ○構成デッサンは個々にモチーフを与える。	○用意する画材 ①画用紙 ②鉛筆 ③アクリルガッシュ絵の具 ④筆
3 月	○芸術の世界を紹介する。 自分の感想や考えを文章、もしくは発言する。	○芸術の世界の現代を観ることで、多様な世界観を享受する。 ○多様な芸術表現を、どう観るか、それぞれが考える。	○名札の付け忘れの確認 ○生徒同士の作品を鑑賞。 ○芸術の意義を問う
	○3学期課題の提出 ①彫刻 ②デザイン構成作品	○欠席者に対応。 ロイロノートに作品画像を提出。	○欠席者に対応。 学校登校時に作品実物を提出するように連絡。

3. 学習計画及び評価方法等

評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
<知識・技能> ○対象をよく観察し描写することができる。 ○表現する内容を深く思考する能力がある。 ○丁寧な作業工程である。 ○芸術に対して好奇心をもち、工夫をすることができる。 ○作品の完成度を高め、仕上げることができる。	○学期課題の提出作品。 ○授業中の作品への取り組み方。 ○授業中の制作態度。
<思考力・判断力・表現力> ○個性豊かな感性であること。 ○アイデアなどの発想力が豊かであること。 ○作品の内容を深く思考することができる。	○学期課題の提出作品。 ○授業中の制作態度。 ○制作途中のスケッチブックのエスキース。
<主体性・多様性・協働性> ○画材や道具を正しく扱うことができる。 ○制作の準備を整えることができる。 ○教室内の片付けを行うことができる。 ○他の人の作品に対し、認め合い配慮することができる。	○授業中の様子。 ○授業後の片付けの様子。 ○画材の扱い方。 ○文化祭の準備の様子。 ○画材の忘れ物

【提出物状況の評価基準】

- A：作品が完成した状態で提出期限を守り、名札を貼っている。
（ロイロノートに画像を提出した場合、個別に対応する）
- B：作品は完成し、名札を貼っている状態だが、提出期限を守っていない。
- C：「努力を要する」状況と判断される
- D：作品未提出の状態。